

# Narita Airport News

## NAN

2021年3月1日号 No.350  
成田空港の運用状況 (2021年1月)

区 分	11月	12月	前年同月比(%)	1月		日平均
					前年同月比(%)	
<b>航空機発着回数(回)</b>	10,448	10,847	48	9,518	42	307
<b>国際線</b>	8,112	8,608	48	7,938	44	256
旅客便	3,571	3,872	25	3,634	23	117
貨物便	4,098	4,230	204	4,028	238	130
その他	443	506	223	276	92	9
<b>国内線</b>	2,336	2,239	48	1,580	33	51
旅客便	2,300	2,194	48	1,534	33	49
貨物便	0	5	12	5	23	0
その他	36	40	37	41	27	1
<b>航空旅客数(人)</b>	400,052	385,621	10	271,286	7	8,751
<b>国際線</b>	144,733	166,399	5	133,507	4	4,307
日本人	32,422	42,325	4	33,765	3	1,089
外国人	78,741	85,732	5	66,196	4	2,135
通過客	33,570	38,342	11	33,546	8	1,082
<b>国内線</b>	255,319	219,222	35	137,779	22	4,444
<b>国際航空貨物量(t)</b>	195,728	207,244	116	192,277	132	6,202
積込	87,503	97,546	115	91,410	139	2,949
輸出	59,054	67,885	133	64,843	169	2,092
仮陸揚	28,449	29,661	89	26,567	97	857
取卸	108,225	109,698	116	100,867	126	3,254
輸入	77,336	77,394	119	71,374	129	2,302
仮陸揚	30,889	32,304	108	29,493	120	951
<b>給油量(kl)</b>	192,558	209,115	53	189,410	49	6,110

(注) 1. 12月、1月は速報値。

2. 国際航空貨物量は東京税関の資料による。

### 羽田空港の運用状況

区 分	11月	12月	前年同月比(%)	日平均
<b>国際線(人)</b>	35,470	54,002	4	1,742
日本人	20,233	35,364	4	1,141
外国人	15,237	18,638	3	601
<b>国際航空貨物量(t)</b>	28,953	32,367	67	1,044
積込	14,845	16,932	81	546
取卸	14,108	15,435	57	498

(注) 1. 国際線旅客数は法務省、国際航空貨物量は東京税関の資料による。

### 航空機発着回数

前年同月比▲58% (22,914回減、一昨年同月比▲56%) となりました。

国際線発着回数は、前年同月比▲56%の7,938回で、新型コロナウイルス感染拡大による水際対策の強化により、旅客便は1月として過去最低の発着回数となりました。

国内線発着回数は、前年同月比▲67%の1,580回となり、緊急事態宣言の影響等により減少しました。

国際線貨物便は、前年同月比+138%の4,028回で、1月として過去最高を記録しました。

### 航空旅客数

前年同月比▲93% (3,554,981人減、一昨年同月比▲92%) となり、1月として過去最低を記録しました。

国際線旅客数は、前年同月比▲96%の133,507人で1月として過去最低を記録しました。国内線旅客数は、前年同月比▲78%の137,779人となりました。

### 国際航空貨物量

前年同月比+32% (46,797トン増、一昨年同月比+25%) となりました。

## 日本で初めて 新型コロナ対策で国際認証を取得

NAAは1月27日、新型コロナウイルス感染症対策が評価され、ACI（国際空港評議会）が実施する「Airport Health Accreditation (AHA) プログラム」の認証を日本で初めて取得したことを発表しました。

このプログラムは、ICAO（国際民間航空機関）が策定したガイドラインを踏まえ、ACIが旅客ターミナル内の清掃・消毒の実施、各エリアにおけるソーシャルディスタンスの確保、お客様やスタッフのマスク着用及び非接触化への取り組みなど合計122項目の実施状況の評価するもので、これまでに世界で200以上の空港が取得している国際認証です。

同社では、今回の認証取得で、国際基準に沿った新型コロナ対策に取り組んでいることを周知するとともに、ACIなどの国際機関、関係機関、航空会社などの空港内事業者と連携して、さらなる感染症対策を実施するとしています。

## ANA 2021年度国際線貨物事業計画

ANA(NH)は2月5日、2021年度の国際線貨物事業計画を発表しました。保有する合計11機の貨物専用機による運航便を成田空港発着に集約することで、機材効率を向上させるとともに、日本発着の輸送需要に加え、成田空港を経由したアジア・中国・欧米間の輸送需要を取り込むとしています。

また、定期便だけでなく、チャーター便や臨時便の運航、需要動向や収益性を見極め、現在運航していない地点・路線への貨物便就航も検討するとしています。

## 国内空港初 ターミナル連絡バスに無料Wi-Fiを導入

NAAは、3月1日から利用者がターミナル間を移動する際に利用する「ターミナル連絡バス」に、無料Wi-Fiを導入しました。国内空港では初めてとなります。

利用方法は、端末の「設定」等から、「Wi-Fi」をONにし、「FreeWiFi-NARITA」を選択。自動表示されたWi-Fi接続画面から、「利用規約・セキュリティについて」に同意すると、接続できるようになります。

また、Wi-Fi接続時の画面では、多言語により車内で実施している感染症対策やお客様にご協力いただきたい事項も表示するとしています。

## AIRPORT BUS「TYO-NRT」 運賃値上げ 3月から片道1,300円

東京都心と成田空港を結ぶ高速バスAIRPORT BUS「TYO-NRT」（エアポートバス東京・成田）は、3月1日から運賃を値上げしました。

運賃の改定前は大人1,000円（小人500円・深夜運賃大人2,000円）であるところ、改定後は大人1,300円（小人650円・深夜運賃大人2,600円）となります。

また、同日より、東京駅から現金で乗車する際の乗車方法が、乗車前に「JR高速バスきっぷ売り場」で乗車券を購入する方式に変わります。ICカード利用の場合は、現行と変更はありません。

「エアポートバス東京・成田」は2020年2月、ほぼ同価格で別々に運行されていた京成バスらの「東京シャトル」と、ジェイアールバス関東、ピー・トランセホールディングスらの「THEアクセス成田」が統合されて発足しました。

## 尾翼

昨年末NANA元社長森中小三郎氏が逝去されました。

森中氏は民間出身の初めての社長であり、成田空港の管理運営という別世界にいられてご苦労されました。

私は、就任時の株主総会担当でしたが、総会後多くの記者による会見に驚かれましたし、複雑な成田空港の建設経緯を理解し、オープンスカイを目の当たりにして大変であったことと思います。

常々コンプライアンスの大切さを説かれていましたし、個人的にも多くのエピソードがあります。

森中氏は、住友商事で中東、ロシア、東南アジアなどで多くのプロジェクトを担当したと語っておられましたが、コロナ禍で世界の人的な交流が止まってしまったのをさぞや嘆いていたことでしょう。

先日、二月十三日に東日本大震災の余震と思われる地震が発生しました。大震災も、フェデックス機が滑走路上で大破したのも、森中氏の在任中のことでした。

豪放磊落な気性とも思える一方、繊細さも持ち合わせていた森中氏。七十八歳で早く人生を終えられた森中氏に心からお悔やみ申し上げます。

(T.S)